研究開発室

ニッポンの家・まちは高齢者にとって住みやすいか

水野 映子

現在、日本における高齢化率（総人口に占める65歳以上の人口の割合）は23%を超えており、世界で最も高い。今後は韓国など一部のアジア諸国において高齢化が急速に進むと推計されている*1が、それでも日本が高齢社会を代表する国であり続けることは間違いない。

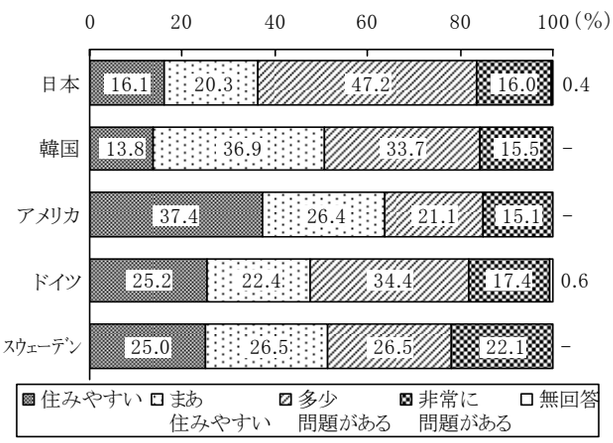
では日本の高齢者は、生活の基本である住まいやその周囲の環境について、どのように感じているのだろうか。またそれは海外の高齢者と異なるのか。５か国の60歳以上の人（日本1,183人、韓国1,005人、アメリカ1,000人、ドイツ1,004人、スウェーデン1,054人）を対象に、2010年に実施された「高齢者の生活と意識　第７回国際比較調査」（内閣府）のデータを紹介しよう。

＜身体機能が低下した高齢者にとって住みにくい日本の住宅＞

まず図表１には「身体機能が低下して、車いすや介助者が必要になった場合を想定したときの、現在住んでいる住宅の住みやすさ」をたずねた結果を示す。「住みやすい」または「まあ住みやすい」と答えた割合は、日本が36.4%と極めて低く、半数前後のドイツ、韓国、スウェーデンや、６割以上を占めるアメリカとは大きな差がある。日本の高齢者のかなり多くが、将来身体機能が低下したときの住みやすさに対して問題意識を持っていることがわかる。

また図表２の通り、現在住んでいる住宅の問

図表１　身体機能が低下したと想定したときの、現在の住宅の住みやすさ



資料：内閣府「高齢者の生活と意識　第７回国際比較調査」2011年

図表2　現在住んでいる住宅の問題点＜複数回答＞

（単位：%）

	住まいが古くなりたんでいる	住宅の構造（段差や階段等）や造りが高齢者には使いにくい	台所、便所、浴室などの設備が高齢者には使いにくい	地震、火事などに対する防災設備が不十分である	住宅が狭い	部屋数が少ない	日当たりや風通しが悪い	住宅が広すぎて管理がたいへん	家賃、税金、住宅維持費など住宅に関する経済的負担が重い	防犯設備が整っていない	転居を迫られる心配がある	その他	何も問題を感じていない
日本	18.5 ①	12.3 ②	9.9 ③	9.0	6.8	6.3	5.8	4.6	4.5	3.9	0.2	1.2	55.5
韓国	27.1 ①	13.4	17.9 ②	2.4	17.6 ③	7.9	8.3	1.0	4.8	4.7	0.5	0.9	54.2
アメリカ	6.6	8.5 ③	6.5	2.4	10.4 ②	6.6	1.6	6.6	16.2 ①	2.9	3.5	2.3	58.3
ドイツ	2.4	15.9 ①	8.8 ②	1.0	2.1	1.7	1.0	7.3 ③	5.1	1.4	6.8	0.8	67.9
スウェーデン	4.1 ③	5.2 ①	2.9	0.7	1.8	2.2	0.9	3.6	5.2 ①	0.4	2.6	5.3	76.3

注　：図表中の丸数字①②③は各国における順位（「その他」「何も問題を感じていない」は除く）
資料：図表１と同じ

題点をたずねた質問において「何も問題を感じていない」と答えた割合は、日本（55.5%）が韓国（54.2%）に僅差で並ぶ。

日本の高齢者が感じている問題点の中で最も大きいのは「住まいが古くなりいたんでいる」（18.5%）という老朽化である。次に、「住宅の構造（段差や階段等）や造りが高齢者には使いにくい」（12.3%）、「台所、便所、浴室などの設備が高齢者には使いにくい」（9.9%）といった高齢者にとっての設備的な使いにくさがあがっている。

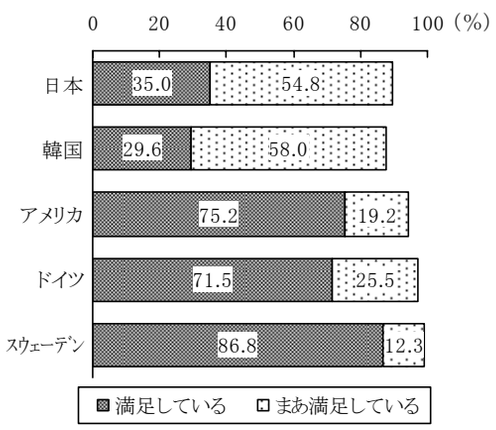
＜居住地域に対する満足度も海外に比べて低い＞

では、住宅周辺の環境に対しては、各国の高齢者はどのように評価しているのだろうか。

図表３の通り、「現在、住んでいる地域の環境を総合的にみてどう思うか」という質問に対して「満足している」と答えた割合は、韓国（29.6%）の次に日本（35.0%）が低く、欧米３か国とは隔たりがある。「満足している」「まあ満足している」を合計した割合も、韓国と日本はやや低い。

また、図表は省略するが「現在住んでいる地域の具体的な問題点」をたずねた質問で「何も問題を感じていない」と答えた割合は、日本（55.5%）が最も低い。問題点として日本では「日常の買い物に不便である」（14.9%）、「バス、電車などの公共交通機関が整備されていない」（10.8%）、「医院や病院への通院に不便である」（9.6%）などがあがっている。買い物をする場や病院など高齢者の日常生活に不可欠な場所が遠かったり、そこに行くための公共交通機関が乏しかったりすることが、居住地域に満足できない一因になっていると考えられる。

図表3　現在住んでいる地域の環境に対する総合的満足度



資料：図表１と同じ

筆者が60～79歳の人を対象に実施した調査では、たとえ現在は外出にそれほど不便を感じていなくても、将来身体機能が低下し自動車や公共交通機関の利用が困難になったら外出が不便になり、外出機会が減るという不安を感じている高齢者は少なくない、という結果が明らかになった*2・3。前述した居住地域における問題点も、高齢者の身体機能が将来低下した際にはさらに深刻になると予想される。住宅とともにその周辺地域も、高齢者にとってより住みやすくすることが必要である。

＜外出時に利用する公共設備の不便は比較的少ない日本＞

ただし、外出するための環境のすべての面に対して、日本の高齢者の評価が低いわけではない。例えば図表４で「外出するにあたって不便に思ったり、気になったりすること」をたずねた結果をみると、「特に不便ではない」と答えた割合は日本（64.7%）が最も高い。

日本で不便に思う割合が比較的高い項目は「夜間の道路照明が暗い、街路灯が少ない」（11.5%）、「道路に段差があったり、道路が狭い、滑りやすい」（11.2%）など道路の歩きにくさに関する項目である。

一方、韓国では「バスや電車の車両のステップが高く、利用しにくい」「駅に階段が多く、エスカレータ、エレベータが少ない」といったバス・電車の使いにくさに関する項目、欧米３か国では「トイレが少ない、汚い、使いづらい」という項目が上位であることが特徴的である。

日本では2000年に「交通バリアフリー法（高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律）」が、さらに2006年にはそれを拡充させた「バリアフリー法（高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律）」が施行された。これらの法律に後押しされ、移動のための設備や空間のバリアフリー化は大きく進んだ。外出する際に公共交通機関や歩行空間に不便を感じる高齢者が日本で比較的少ないのは、そうしたことが背景にあるのかもしれない。

図表4　外出するにあたって不便に思ったり、気になったりすること＜複数回答＞

（単位:%）

	夜間の道路照明が暗い、街路灯が少ない	道路に段差があったり、道路が狭い、滑りやすい	歩道がないまたは歩道が狭い、歩きにくい	ちょっと休むベンチや休憩所が少ない	トイレが少ない、汚い、使いづらい	駐車場、駐輪場が少ない	駅に階段が多く、エスカレータ、エレベータが少ない	放置自転車や看板などのために歩きにくい	道路や歩道が混雑している、人込みが激しい	信号機がない、歩道橋を渡るなど、道路の横断がしにくい	バスや電車の車両のステップが高く、利用しにくい	駅などの料金表示が見づらい、自動販売機などが使いにくい	標識や案内表示が少ない、わかりにくい	その他	特に不便ではない
日本	11.5 ①	11.2 ②	9.3 ③	7.7	6.7	4.8	3.8	2.8	2.0	1.9	1.6	1.5	1.4	2.6	64.7
韓国	10.0	11.9 ③	10.1	8.5	6.2	2.8	13.1 ②	2.0	9.0	10.1	13.8 ①	5.5	3.8	1.6	57.5
アメリカ	13.0 ①	10.5	8.4	12.4 ②	11.4 ③	5.9	1.9	1.4	4.8	3.9	3.5	1.4	1.4	2.5	64.3
ドイツ	12.9 ③	6.3	4.8	14.3 ②	18.0 ①	10.6	8.7	2.0	3.0	5.3	8.5	10.6	1.0	1.1	59.5
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	12.3 ③	19.6 ①	4.1	8.4	15.3 ②	8.7	2.6	4.9	3.5	1.7	3.6	5.4	1.3	5.5	51.7

注　：図表中の丸数字①②③は各国における順位（「その他」「特に不便ではない」は除く）
資料：図表１と同じ

＜超高齢社会をリードする国として＞

世界随一の高齢大国である日本にとって、高齢者が暮らしやすいよう住まいやまちを改善することは、もとより喫緊の課題であった。それに加え、今年３月に発生した東日本大震災によって被害を受けた地域の再建・復興にあたっても、高齢者等の住みやすさを考慮することが不可欠となっている。日本は他国が経験したことのない難題に直面しているといえる。今後はこうした課題を解決し、世界に誇れる住まい・まちづくりを目指すことがますます重要であろう。

*1　United Nations, 2011, World Population Prospects: The 2010 Revision.
*2　水野映子, 2011,「高齢期の外出に対する不安と意向」『Life Design Report』(Summer 2011.7).
*3　第一生命経済研究所, 2011,「60代・70代の男女800名に聞いた『高齢期の外出に対する意向と不安』」.
http://group.dai-ichi-life.co.jp/dlri/ldi/news/news1109.pdf